

3. 「2020年度見学会」報告

旭ファイバーグラス(株)

日本音響材料協会では、情報交換や技術交流を目的として正会員を中心に見学会を毎年1回程度実施しています。

2020年は2月19日(水)に旭ファイバーグラス(株)湘南工場の見学会を開催した結果、会員11名の参加がありました。

旭ファイバーグラスの湘南工場は神奈川県寒川町に立地する国内最大級のグラスウール生産拠点となる同社の主力工場です。

初めに工場敷地内の事務棟会議室にて同社の沿革、事業内容、工場の概要、生産工程の説明を受けました。



昭和31年11月現在の湘南工場の地にて旭硝子(現AGC)とオーエンスコーニング社(米国)の合弁事業として設立し現在は吉野石膏グループに参加し不燃断熱吸音材グラスウールを住宅・建築・産業市場の幅広い分野に展開をしています。

生産ラインの見学を前にしてグラスウールができるまでの説明を受け、原料を窯に投入、溶解したのちガラス繊維化装置の無数の孔から遠心法で吹き出された糸に結合剤(バインダー)添加を行いベルトコンベア上に集積(集綿)させオープンで熱を加える事で密度と厚みを設定し、その後貼り加工や様々なサイズへとカットをして世に送り出されている工程を図解で受けました。



実際の見学は主力ラインで住宅用断熱材「マツトエース」の生産工程を見学し各工程を見ながら説明を受けました。(工場内の撮影は出来ませんでした。)

生産工程の見学が終わると次にモデルハウスの見学を行いました。

モデルハウスは工場内にある木造建築風の建物で屋根にはアスファルトシングル屋根材「リッジウエイ」のカバーーフ・リフォーム工法が施工されています。

1階は各分野の実物サンプルが展示されていて用途分野別に商品の確認ができました。

主力商品で平成26年度省エネ大賞「資源エネルギー庁長官賞」を受賞した製品「アクリアa」の性能の違いが判る顕微鏡の映像確認や製品に触れることでしなやかさの確認が出来ました。



施工研修エリアを抜けて2階へ上がるとグラスウールの断熱性能・吸音性能が体感できる展示物が冬の床の例や夏場の2階天井の焼け込みの例、ダクトを通る音の対比や吸音材の有る部屋と無い部屋の比較などが体感する事が出来ました。

会議室に戻り質疑応答の時間が設けられ再生率が80%以上となるグラスウールの原料のことや細繊維製品「アクリア」の断熱・吸音に高性能な訳仕組みなどの質疑などを有意義にさせて頂きました。

最後に見学の機会をいただきました旭ファイバーグラス様とその社員の皆様にお礼を申し上げます。